



平成 22 年度科学技術振興調整費・戦略的環境リーダー育成拠点形成事業
「東アジア環境ストラテジスト育成プログラム」

概 要

九州大学では、東アジアで発生する環境問題の実情、対策に関連する制度や技術について幅広い知識を有し、戦略的に問題解決にあたることができる「環境ストラテジスト（環境戦略家）」を育成するプログラムを開始します。これは平成 22 年度科学技術振興調整費・戦略的環境リーダー育成拠点形成事業として、「東アジア環境ストラテジスト育成プログラム」が採択されたことにより行うものです。このプログラムは、九州大学東アジア環境研究機構が主体となり、海外の連携校・国際研究機関・企業等との連携のもとに推進する教育プログラムです。

平成 22 年度 10 月より、博士課程の大学院生を毎年 5 名、修士課程の大学院生を毎年 10 名、基本コースの大学院生を毎年 5 名受け入れます。5 年間で、合計 90 名（※注）の学生を受け入れ、「環境ストラテジスト」として育成する予定です。

※注）修士課程（毎年 10 名）のみ、平成 23 年度より受け入れを開始します。

■背 景

東アジア環境研究機構は、平成 19 年に発足した東アジア環境問題プロジェクトを母体とし、平成 21 年に改組・拡充して教育と研究の両面からアジアの環境対策に貢献するために設立された、九州大学総長を機構長とした全学的な組織です。

現在、世界全体、とりわけ東アジア圏を中心として、深刻な環境被害が発生しています。新興国の経済発展が著しい反面、それに伴う環境問題の顕在化に目をつぶることはできません。したがって、世界におけるアジアの地位向上を図るためには、環境施策を中心とした資源節約型の持続可能な社会の構築が肝要です。九州大学は、アジアを重視した知の世界的拠点大学としての役割を担い、その責務を全うしていくべきであると考えます。

このような観点から、東アジア環境研究機構は産学官の連携を深めると同時に、世界から優秀な学生、若手研究者を集めて、活発な人材交流と研究教育による若手人材の育成を推進します。記憶に残る国際交流は、記録に残る国際連携へと進展し、将来を担う人材育成の教育拠点としての役割を果たします。

■内 容

本プログラムは、廃棄物問題、水質汚濁、大気汚染、生態系の劣化、砂漠化、海洋汚染といった東アジアが抱えている現在ニーズの高い環境問題に対し、戦略的な対策立案と実施に必要な能力を習得する体系的プログラムです。

具体的には、新たに設置するカリキュラムにより①アジアの環境問題に対する幅広い知識、②実践的な問題に対応できる能力、③戦略的な立案能力、などの必要な知識、能力の習得を図ります。必修科目（「東アジア環境概論」、「環境ソリューション学」、「環境の社会経済分析」、「環境システム分析論」）、「東アジア環境プロジェクト演習」を設けます。これらは講義と日本国内および海外での研修・インターンシップを組み合わせた構成となっており、東アジア圏の主要大学や国際機関の支援を受けながら、留学生と我が国の学生がともに学ぶことによる効果が十分発揮される内容となっています。また、各学府における既存の専門科目を選択科目として提示し、必要な知識を体系的に習得させます。さらに学生は東アジア環境研究機構における研究プロジェクトに参加し、研究指導を受けることにより戦略的、実践的な能力を身につけます。

東アジア環境ストラテジスト育成プログラムの実施内容

環境ストラテジスト育成プログラム

- ・ 環境問題に対する広範な知識: 共通科目
社会科学から自然科学まで幅広い講義
- ・ 環境問題の実践的解決能力: プロジェクト演習
海外インターンシップによる演習
- ・ 戦略的計画立案能力: 環境システム分析



各専門分野の大学院教育プログラム

- ・ 既存開講科目の履修
- ・ 修士論文・博士論文(指導教員による研究指導)



東アジア環境ストラテジストの育成

専門分野を基盤にして、環境問題を総合的かつ体系的にとらえ、
戦略を持って解決策を提示できる人材

東アジア環境研究機構の研究プロジェクトへの参加

- ・ 上海老港廃棄物処分場
- ・ 太湖の水生生物調査 等



協定校、インターンシップ実施機関との連携

同済大学、精華大学、ホーチミン工科大学、
アジア開発銀行 (ADB)、国際協力機構 (JICA) 等

留学生に対する充実した支援

- ・ 奨学金プログラムによる支援制度、留学生への
ワンストップサービス

継続的なフォローアップ

- ・ 東アジア環境問題シンポジウムへの参加や産
学官の連携による支援



■効果

プログラム修了者は、東アジアで発生する環境問題の実情、対策に関連する制度や技術について幅広い知識を有し、戦略的に問題解決に当たることができる「環境ストラテジスト (環境戦略家)」として、将来、行政・研究機関・企業において指導的な立場で環境対策を立案することが期待されます。

■今後の展開

今後は、東アジア環境研究機構が進める研究プロジェクトの成果を教育面にもフィードバックし、第一線の研究現場を活用した教育を通じて、次世代を担う環境ストラテジストを育成します。当事業は、九州大学、ひいては我が国の学術的・社会的プレゼンスの拡大への貢献を目指しています。

その他詳細につきましては東アジア環境研究機構 Web サイトをご覧ください。

(<http://www.q-eaep.kyushu-u.ac.jp/>)

【お問い合わせ】

九州大学 東アジア環境研究機構
プロジェクト推進室 大隈
電話：092-802-2567
FAX：092-802-2568
Mail：office@rieae.kyushu-u.ac.jp